

令和6年度

人権を学ぶ会

「まとめ」

実施期間:令和6年 9月~11月

北 栄 町
北栄町教育委員会
北栄町人権教育・啓発推進協議会

令和6年度 人権を学ぶ会 実施概要

北栄町の将来像である「人と自然が共生し 確かな豊かさを実感するまち」の実現のため、人権を尊重するまちづくりを推進する必要がある。その具体的な取り組みとして、町民一人ひとりが学ぶことをきっかけとして、“個性を認め合い、互いの心に寄りそうまち”をめざして「人権を学ぶ会」を実施した。

今年度の学習内容は、事務局が指定した DVD 視聴による学習と、各自治会の希望テーマによる個別学習から各自治会が選択し実施した。

開催にあたっては、各自治会の主体性を尊重し、実施の可否や参加定員の設定などは各自治会において判断していただいた。

なお、人権を学ぶ会の開催は 9 月3日から始まり、11月21日で終了した。

【実施状況】

実施自治会 58 自治会（昨年度 52 自治会）
未実施自治会 5自治会（昨年度11自治会）

【学習内容】

DVD 視聴 57自治会
個別学習 1自治会（講演会：人権一般）

【特記事項】

未実施自治会で自治会内において人権啓発放送と、人権啓発チラシの配付希望があったの実施した。（1 自治体）

（学習のポイント・ねらい）

- 人権問題が私たちの生活の中で身近にあり、自分自身に関わる問題でもあることに気づき、問題解決に向けて自分たちに何ができるかを考える。
- これまでの自分の行動や発言について、差別に結びつくことや偏見などがなかったか振り返る。
- 人権問題に対する正しい認識や判断力を持ち、身のまわりの不合理を正していくための力をつけるために、継続的な学習参加の必要性を認識する。
- 一人ひとりが地域社会を担う一員であることを自覚し、お互いを認め合い、人と人との助け合い、支え合い、交流により、すべての人の人権が尊重された安心して暮らせるまちづくりにつなげる。

令和6年度 人権を学ぶ会 まとめ

実施期間 令和6年 9月～11月

実施自治会 58自治会

参加者数 822人（昨年度 818人）

参加率 16.7%（昨年度 16.5%）

〔参加者の意見から〕

人権を学ぶ会の取り組みについて(抜粋)

- 人権は継続して学ばないといけない。
- 人権学習は数を重ねることが重要。学ぶことがたくさんある。
- 学びを続けることが大切！
- 多くの人が参加できるように、続けて行ってほしいです。
- 時代は変わってくるので、人権に関する知識を日々身に着ける必要がある。
- 人権教育は必要であるので、いろいろなテーマで開催されることを期待します。
- まだ知るべきこと、学習すべきことが沢山ある。
- 自分自身の考え方を見つめ直し改善していかなければならないから、こういう機会に参加すべきと思う。
- 自分の心のあり方を見直す良い機会となりました。

〔考察〕

今年度は、人権を学ぶ会の実施自治会は昨年より6自治会增加し 58自治会で開催され、参加者数も昨年とほぼ同数の 822人(4人増)となった。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から5年間未実施の自治会もあることから、数年ぶりの人権を学ぶ会の開催となった場合など、自治会内の実施体制や参加意欲などが懸念されることから、今後そのような自治会に対する適切なフォローが必要となる。

今年度の人権を学ぶ会は、性的マイノリティの人権問題を取り扱うことで、性の多様性について学び、性的マイノリティの方への理解を深め、これまでの意識について考えることを狙いとし、教材 DVD「バースディ」を町推奨教材として実施した。

また、一昨年・昨年に引き続き、人権を学ぶ会以外での学習機会を提供するため、琴浦町・湯梨浜町・北栄町 3 町で連携し TCC 人権啓発番組『災害と人権～要配慮者の視点から～』を作成し、TCC での放映やホームページに掲載した。

社会・地域・家庭・自分を振り返っての意見(抜粋)

- 何気ない言葉の中に偏ったものの見方があることに気づく内容だったと思う。人の振りならぬ、人の言動見て自分の言動注意！
- 自分自身を見つめ直すきっかけになりました。
- 自分の感覚で、つい違いのあるものは排除してしまう。また、周りと同調することに安心を覚えるため、避けようとしてしまう。そんな感覚を、今日もDVDで学んだことで、少し改めることができたと思う。
- 安易な発言が、人を傷つけることがあることを再認識した。
- 生活をしている中で気づいておらず、見過ごしている分野でもあり、身近にも悩んでいる人がいるかも・・・と思うことができた。

[考察]

人権を学ぶ会を実施した58の自治会のうち、50の自治会で教材DVD「バースデイ」を視聴し、性的マイノリティの人権問題について学んだ。

参加者からは、「自分の立場だったらどうかと考えることができた」、「普通というのは自分自身の普通であって、他人とは違うということを改めて感じた」などの意見が多くあった。

これらの意見から、今年度の学習テーマが性的マイノリティの方への理解を深め、これまでの意識について考えることのできる内容であったことが伺える。

学んだことから行動に活かす意見(抜粋)

- 「普通って何？」を考えていきたい。自分らしく笑って生活していけることが大事だと思います。
- 「アウティング」という言葉は初めて聞いた。今後気をつけていくべきだと思う。
- 今後自分がその立場に立ち会うかもしれない。その時のことを考えたら、学習してよかったと思う。
- 様々な立場の人が、自分らしく生きられる社会であれば良いと思いました。一人ひとりの個性を認めて生きていきたい。
- 頭ではよく分かりました。繰り返し学ぶことが必要だと思いました。普通という枠を勝手に作らないことを心がけたいと思います。
- 価値観を押し付けないこと。理解しようとする姿勢を常に持つこと。

[考察]

「今後も知識を深めていきたい。」、「今日の学習内容を今後を活かしたい。」という意見を多くいただいた。

人権を学ぶことで、多様性を認め合い、すべての人が自分らしく生きていける社会に繋がっていくことをさらに伝え、それぞれの行動を促していく必要がある。

〔参加者アンケート結果から〕

●アンケートの概要

次年度以降の学習方法・内容等の検討資料とするため、人権を学ぶ会の参加者を対象にアンケートを実施した。

また、平成30年度よりアンケートにおける性別欄を撤廃した。これは、性的少数者への配慮に加え、性別の記載が必要な情報ではないと北栄町人権教育推進協力員会議で判断したことによる。

なお、これまではアンケートの回収率を上げるために、会の途中に記入時間を設けていたが、複数の要望を受け、令和2年度より訪問者の終わりの挨拶の後、閉会後にアンケート記入するよう日程を変更し、高い回収率となっている。

◆アンケート回収率 93.2%(参加者 822人中 766人分回収)

※昨年度回収率 93.4%(参加者 818人中 764人分回収)

◆アンケート回答者の年齢

(単位:%)

	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
R6年	0.5	0.4	3.3	9.9	16.1	30.8	32.4	6.5
R5年	0.6	0.4	2.5	10.6	16.3	32.9	29.0	7.7
R4年	1.2	0.4	3.4	11.4	15.0	35.8	29.9	2.9
R3年	1.0	0.5	3.6	9.8	16.0	39.9	25.8	3.4
R2年	0.2	0.2	4.4	14.3	18.2	36.4	23.5	2.8

※端数処理の関係で、集計値の合計は、必ずしも100%とならない場合がある
〔考察〕

全ての参加者のうち、50代以下と60代以上で区分した場合の参加者割合は、50代以下は全体の30.2%(昨年30.1%)、60代以上は全体の69.7%(昨年69.9%)となり、若年層の参加率が低い傾向が続いている。

DVD視聴等を中心とした現在の学習方法は、中高生などを含めた若年層の参加も十分意義があり、参加者からも若い人に参加してほしいとの声もあることから、今後も若年層の参加を増やしていくために、家族ぐるみの参加を促すことや、学校等への働きかけも継続していく必要がある。

●アンケート結果と分析(数値:%)

問1 本日の人権を学ぶ会に参加して、あてはまる回答にひとつ〇をしてください。

① 今日の学習内容(DVD・ミニ講演等の内容)は、

	ア わかりやすかった	イ わかりにくかった	ウ どちらともいえない
R6年	89.6	2.4	8.0
R5年	93.1	1.2	5.7
R4年	95.4	0.2	4.4
R3年	95.8	2.0	2.2
R2年	90.8	2.6	6.6

〔考察〕

学習内容について「わかりやすかった」と回答した参加者は89.6%で、過去5年度1番低い割合となっている。

今年度は多くの自治会で教材 DVD「バースディ」を活用した学習を実施されたが、アンケート意見の中には、「テーマの例があまりないのでピンとこない」、「経験がない。身近なことではない。」などの意見もあり、結果はその表れだと考えられる。

また、今回は DVD の中に「カミングアウト」、「アウティング」など、参加者にとって初めて聞く言葉・普段あまり馴染みのない言葉も使われていたこともあり、参加者からは「DVD 視聴前に資料や用語の説明があった方が良い」という意見もあった。参加者が学習内容をより理解できるように、会の進行を工夫する必要がある。

② 今回の人権を学ぶ会に参加して、今後活かせる学習に

	ア なった	イ ならなかった	ウ どちらともいえない
R6年	86.6	1.1	12.3
R5年	89.4	0.5	10.1
R4年	91.6	0.2	8.3
R3年	92.1	0.7	7.2
R2年	86.3	0.7	13.0

〔考察〕

昨年と比較すると、今後活かせる学習になったとする割合は減少したが、9割近い割合となっている。これは、「日常生活の中で意識できると思う」「日常の中で『普通はこうだ』と押し付けていることが多く、相手によって普通が違うので気をつけたい」などの意見にもあるように、DVD の視聴により、これまでの自分自身を振り返り、自分の中の偏見に改めて気づききっかけになったことも考えられる。

性的マイノリティの人権問題については、配慮が必要となる場面もあるが、心を寄りそわせ、改めて自分に何ができることを知ることで、何が人権問題なのかを気づき、行動をすることが可能となる。

人権問題の解消は、まず「知る、感じる、気づく」ことから始まり「行動」へと繋が

っていくものであり、今後も「知る、感じる、気づく」を導く学習テーマや教材を提供し、一人ひとりの「行動」につながる学習としていく必要がある。

③ 次回の人権を学ぶ会は、

	ア 参加したい	イ 参加したくない	ウ どちらともいえない
R6年	76.4	1.5	22.1
R5年	76.0	0.7	23.3
R4年	73.5	0.5	26.0
R3年	80.0	0.5	19.5
R2年	74.3	0.7	25.0

〔考察〕

設問①の分かりやすさや、設問④の満足度の高さに比較して、次回も参加したいと回答した割合は昨年度から微増したものの、それほど高い割合となっていない。

「参加したい」の理由として、「世の中変わっていくので、新しい知識を身につける機会として参加していきたい」、「新しい発見、学びがあったから」、「続けることが大切だから」など、人権を学ぶ会が新たな知識を得ることができることや、継続した学習をすることで自らの人権意識をチェックする機会となっており、実際に学びを感じた参加者が次回も参加したいとする前向きな意見につながっていることが伺える。

一方で、「どちらともいえない」と回答した意見の中では、昨年に引き続き「学びたいテーマであれば参加する」、「時間帯が合えば参加する」などの意見も複数あった。

また、「参加者が少なくて残念」などの意見もあり、様々な人権問題について興味関心を持っていただく効果的な周知とともに、より参加しやすい開催方法や時間など、自治会と一緒に検討することが必要である。

④ 今回の人権を学ぶ会の満足度はどれくらいですか？

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満	不満
R6年	43.7	43.8	11.4	0.8	0.3
R5年	44.0	46.9	8.1	0.7	0.3
R4年	46.0	45.4	7.7	0.7	0.2
R3年	49.0	43.1	6.3	1.3	0.3
R2年	37.3	49.2	12.6	0.4	0.6

〔考察〕

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると87.5%で、過去5年間で2番目に低い割合となっている。これは、「自分事として考えられないテーマだった。」「もっと身近な問題がよかった。」などの意見から伺えるように、参加者にとってあまり身近なテーマ設定ではなかったことが、要因の1つだと推察される。

問 2 この3年間に人権学習の場に何回参加されましたか？

	ア 5回以上	イ 3回～4回	ウ 1回～2回	エ はじめて
R6年	16.5	30.6	30.2	22.6
R5年	13.4	25.2	33.2	28.2
R4年	13.7	25.9	33.3	27.0
R3年	14.8	34.0	32.7	18.4
R2年	17.9	37.1	30.0	15.0

〔考察〕

この3年間に5回以上参加している人の割合が、過去5年間で2番目に高い割合となった。この人権を学ぶ会をはじめ、分かりやすいじんけんの話、じんけんフェスティバルなど、様々な学習機会により、町民の継続した学びに繋がっていることが伺える。

今後とも、新たな参加者を増やし人権を学ぶきっかけにつなげていくことと同時に、継続した学びとしていく工夫や人権を学ぶ会で取り上げるテーマと関連する団体等と連携し、人権の取り組みの裾野を広げていくことを意識しながら、引き続き連携・啓発に努める必要がある。

問 3 今後、学びたい人権テーマや、興味ある人権テーマは？(上位 5 テーマ)

- | | | |
|-------------------|-------------|-------|
| ① 障がいのある人の人権 | 247人(14.8%) | 昨年 2位 |
| ② 高齢者の人権 | 221人(13.2%) | 昨年 1位 |
| ③ インターネットにおける人権 | 198人(11.8%) | 昨年 5位 |
| ④ 個人のプライバシーに関する人権 | 165人(9.9%) | 昨年 3位 |
| ⑤ こどもの人権 | 131人(7.8%) | 昨年 4位 |

問 4 今回の学習内容(人権問題)に関連したご意見・ご感想をご記入願います。

〔主な記述の抜粋〕

- ・性的マイノリティに限らず、性別、年齢、性格等、様々な違いが存在しますが、難しいことではありますが、まず、相手の立場になって考えてみるのが大切だと考えます。「みんなちがって、みんないい」となれるように、この学習会に参加していきたいです。
- ・当事者の声があがるようになって、やっと知ることができるようになった。
- ・多様な性を受けいられる世の中になってほしい。
- ・自分自身の問題として考えていかなければならない。
- ・「普通ってなんだろう？」この言葉は心に残っています。
- ・他の内容も学習して、人権を尊重できる人間になりたい。
- ・配布された資料が分かりやすかった。

〔考察〕

「多様性を認め合える社会になれば良いと思った。」、「相手の立場になって考えてみるのが大切」などの感想をいただいた。

人がそれぞれ持っている価値観の違いを認め、相手を大切に思うことは人権の基本的な考え方であり、今年度の学習内容が、自分の中にある偏見に気づき、自分も相手も尊重することを改めて考えていただく機会になっていることが伺える。

また、DVD 視聴のポイントだけではなく、性の多様性に関する基礎知識についての配布資料も分かりやすかったとする意見もあり、学びを深めるためにも配布資料も含めさらに工夫していくことが必要である。

問5 本町人権教育の取り組みについてご意見・ご感想があればご記入願います。

〔主な記述の抜粋〕

- ・人権学習はいろいろな気づきのために必要だと思う。学習会で考える機会ができて、勉強になるので続けてほしい。
- ・もっと多くの人が参加したらいいと思う。
- ・人権を学ぶ会の開催方法について、毎年参加人数が少ないため、開催方法を検討する時期になっているのでは。

〔考察〕

いただいた様々なご意見について十分に検討していく必要がある。例年、若年層の参加促進や、周知方法を工夫し参加者を増やすべきなどの意見をいただいている。

また、一昨年・昨年に引き続き人権を学ぶ会以外での学習機会を提供するため、琴浦町・湯梨浜町・北栄町 3 町で連携し TCC 人権啓発番組の放映やホームページでの視聴も可能にした。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから約1年半が経過し、自治会活動が再開されているが、今後も、町民が積極的に参加できるような人権教育の取り組みを検討する必要がある。

〔おわりに〕

近年、少子高齢化、核家族化、ひとり親世帯の増加や地域のつながりの希薄化から、家族内や地域内での互いが支え合う力の低下が問題となっている。また、コミュニケーションの低下した状態での人間関係は、お互いを思い合い、違いを認め合うことも遠ざけてしまう。

このような社会状況の中で、地域の共助や地域全体で支える力を維持・再構築するためにも、町民一人ひとりが人権について学び、「誰一人取り残されない」地域にしていけるよう一緒に考え、実践することは重要であり、「人権を学ぶ会」の果たす役割も益々大きくなっている。

今後も、様々な人権問題の解消と人権が尊重された住みよいまちづくり推進のため、「人権を学ぶ会」を充実・発展させていき、“個性を認め合い、互いの心に寄り

そうまち”をめざす必要がある。